

国際交流会館

芸大には現在、約100名におよぶ外国人が留学してきている。彼らの一部が居住する「国際交流会館」はどのような場所なのだろうか。



都心から離れた留学生の拠点

趙洗淵

上野から電車で約四〇分。駅からは自転車だつたら五分ぐらいで、歩いても十分ぐらいのところに東京芸術大学国際交流会館がある。所在地は千葉県松戸市。私をはじめここを訪れた時、東京から一時間もかからないところなのに、こんな田舎なんだというのが、最初の印象であつた。

しかし、実際にここで生活している間に少しずつ私の心は最初のちょっとした不満から、満足、そして感謝の気持ちに変わっていったのである。

その理由はいろいろあるけれども、まずは経済的な面である。多くの留学生が日本に来て最初に直面するのが高い物価である。部屋の家賃をはじめさまざまな生活費は日本という国に慣れない限り、とつても理解しづらいところである。このようなことを学校側はちゃんと把握しているようだ。だから、ちょうど日本という国を理解するまでの期間を、援助するための施設を作ったのではないかと私は思う。

そしてもう一つは、この会館の場所である。大体の人々は外国に留学をする、その留学先である学校の周りとか、情報が少ないため大都会で部屋を借りるしかないのが現実である。しかしこの会館は上野と取手のまん中ぐらいという意味も

あるかもしれないが、都心からかなり離れている。しかも注意して見ると畑や田んぼも見られるところである。世界の人が持っている日本のイメージは、おそらく経済大国とか最先端技術を持っている工業国家などのことが浮かぶだろう。しかし、日本はもともと農業の国であつた。現在も日本の農業生産率は世界トップレベルだと聞いている。ところが、日本という国を学ぶために来ている多くの留学生はこの国の本当の姿をわからずに帰ってしまう場合が多い。それがここでは少し感じられるのである。そして、自分の国と変わらないところが見つかった瞬間、この国がもつと近く感じられたのである。

毎年十一月ぐらいになると学校側からこの会館に住んでいる留学生と、この地域の住民との交流のため、懇談会を開いている。当然今年も開かれ、私が留学生を代表してこのような話をしたら、この地域の方々も強く共感してくださつた。その住民の方たちの側からみると、このような施設はむしろ迷惑な存在かもしれない。それにもかかわらず、皆自分たちの町にこの会館があることを喜んでいただき、あたたかい笑顔で、お勉強、頑張ってくださいねと言ってくれた。もはやここは留学生と日本人をつなげてくれ



国際交流会館
〒270-1034 千葉県松戸市新松戸7-376
(上野駅から約1時間10分)
J R常磐線「新松戸駅」下車徒歩20分
J R武蔵野線「南流山駅」下車徒歩8分

る立派な一つの通路になっていることを
実感したのである。
私は今、厳しい状況のなかで自分の夢
に向かって一所懸命に努力している。し
かも私は妻と子のある家庭を持っている
立場である。それで時々、このような施
設がなかったらどうなったんだらう?と
思いながら改めて感謝の気持ちを持つよ
うになる。
(ちよう・せよん / 大学院美術研究科
サイン専攻二年)